



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ウイズ

コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横井昭裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当

(氏名) 木村学

TEL 03-3534-3180

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	366	△53.4	△191	—	△224	—	△225	—
27年5月期第2四半期	785	22.3	△90	—	△96	—	△97	—

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 △224百万円 (—%) 27年5月期第2四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	△73.19	—
27年5月期第2四半期	△31.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第2四半期	1,332	605	45.4	196.41
27年5月期	1,571	829	52.8	269.26

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 605百万円 27年5月期 829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,000	△42.6	△50	—	△110	—	△112	△36.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期2Q	3,081,600 株	27年5月期	3,081,600 株
28年5月期2Q	— 株	27年5月期	— 株
28年5月期2Q	3,081,600 株	27年5月期2Q	3,081,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定に前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安等を背景に輸出企業を中心に企業業績は好調に推移し、それに伴い個人消費も堅調に伸長し、全体としては、緩やかな景気回復の状況にありました。

このような状況のもと、玩具市場全体は堅調に推移しております。

当社グループにおいては、ここ数年の業績低迷を打解すべく、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減に努め、基幹事業であるOEM製品販売に加え、オリジナル商品販売事業の成長拡大のために経営資源を集中し、将来に向けた事業組織基盤の再構築をおこなっております。

当第2四半期連結累計期間は、OEM製品販売は、株式会社バンダイより新シリーズ「TAMAGOTCHI 4U+」の販売を平成27年7月18日より開始し、当該連結累計期間内においては堅調に推移しました。しかしながら、その他のOEM製品販売及びオリジナル商品販売が予定していた受注及び販売に至らなかったことにより、全体として計画をやや下回る状況となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3億66百万円（前年同期比53.4%減）となりました。

利益面におきましては、営業損失は1億91百万円（前年同期は90百万円の営業損失）、経常損失は、第1四半期連結会計期間より持分法適用会社となったピップ&ウィズ株式会社の持分法による投資損失等を含め2億24百万円（前年同期は96百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億25百万円（前年同期は97百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億38百万円減少し、13億32百万円となりました。これは、主に現金及び預金が2億44百万円減少したことによるものであります。

負債は、14百万円減少し、7億27百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が18百万円増加した反面、流動負債のその他が32百万円減少したことによるものであります。

純資産は、2億24百万円減少し、6億5百万円になりました。これは主に当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失により、利益剰余金が2億25百万円減少したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べ2億44百万円減少し、4億98百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2億30百万円となりました（前年同期は3億33百万円の使用）。これは税金等調整前四半期純損失が2億24百万円、売上債権の増加が19百万円であったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25百万円となりました（前年同期は48百万円の獲得）。これは関係会社株式の取得による支出が25百万円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は11百万円となりました（前年同期は1億70百万円の使用）。これは長期借入金の返済による支出が1億18百万円であった反面、短期借入金の純増額が1億30百万円であったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月期における通期連結業績は、当第2四半期連結会計期間も含めて、前回発表予想を下回ることとなりました。詳細につきましては、平成27年12月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、新規取得したピップ&ウィズ株式会社を持分法の適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前々連結会計年度より当期純損失を計上するとともに、当第2四半期連結累計期間においても営業損失1億91百万円、経常損失2億24百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失2億25百万円を計上しております。これらの状況により、当社には継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

- ① 売上高の拡大
- ② 固定費の削減
- ③ 資金繰りへの対応

上記のうち「① 売上高の拡大」につきましては、OEM製品販売において、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」「デジモン」等の主力シリーズの新製品開発に注力し、一定額の売上高及び売上総利益を確保することに努めてまいります。また、シニア層も意識した幅広い年齢層をターゲットにしたオリジナル商品の開発及び販売を売上拡大の柱にし、新規販売ルートの確立、そのための体制及び人材の強化を図っております。これからもそれら施策を含め、売上高の増加に継続的に取り組んでまいります。

「② 固定費の削減」につきましては、当第2四半期連結累計期間に大幅な削減を実現しましたが、引き続き固定費の支出を抑えるための取り組みに努めてまいります。

「③ 資金繰りへの対応」につきましては、個別の資金手当の可能性を幅広く検討しておりますが、当面の間、現状の現金及び現金同等物の残高にて、運転資金及び借入金の返済等は十分に賄える予定であります。

以上により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	743,230	498,837
受取手形及び売掛金	95,909	115,031
商品及び製品	43,140	31,622
仕掛品	12,703	11,018
原材料及び貯蔵品	14,034	10,078
その他	27,912	34,177
流動資産合計	936,931	700,765
固定資産		
有形固定資産	26,125	23,819
無形固定資産	1,480	1,332
投資その他の資産		
投資有価証券	519,725	519,989
その他	87,133	86,504
投資その他の資産合計	606,859	606,493
固定資産合計	634,464	631,645
資産合計	1,571,395	1,332,410
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,405	35,295
短期借入金	90,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	182,720	114,615
その他	87,369	54,920
流動負債合計	376,495	424,831
固定負債		
長期末払金	265,526	265,526
長期借入金	50,475	—
退職給付に係る負債	48,650	35,874
その他	502	913
固定負債合計	365,154	302,315
負債合計	741,649	727,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	△307,679	△533,230
株主資本合計	834,990	609,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,050	1,281
為替換算調整勘定	△6,294	△5,456
その他の包括利益累計額合計	△5,243	△4,174
純資産合計	829,746	605,264
負債純資産合計	1,571,395	1,332,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	785,551	366,270
売上原価	506,780	254,319
売上総利益	278,771	111,950
販売費及び一般管理費	368,969	303,528
営業損失(△)	△90,197	△191,577
営業外収益		
受取利息	125	38
受取配当金	425	470
為替差益	949	—
その他	206	732
営業外収益合計	1,705	1,241
営業外費用		
支払利息	4,402	3,834
為替差損	—	607
持分法による投資損失	106	28,941
債権売却損	494	250
支払手数料	3,000	—
その他	2	89
営業外費用合計	8,005	33,722
経常損失(△)	△96,497	△224,058
特別損失		
固定資産除却損	11	142
特別損失合計	11	142
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,508	△224,200
法人税等	1,350	1,350
四半期純損失(△)	△97,858	△225,550
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△97,858	△225,550

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)
四半期純損失(△)	△97,858	△225,550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	231
為替換算調整勘定	△1,643	837
その他の包括利益合計	△1,434	1,068
四半期包括利益	△99,293	△224,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,293	△224,481

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,508	△224,200
減価償却費	4,485	3,391
組合等受入損益(△は益)・純額	11	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,426	△12,775
受取利息及び受取配当金	△550	△509
支払利息	4,402	3,834
為替差損益(△は益)	△756	△17
持分法による投資損益(△は益)	106	28,941
固定資産除売却損益(△は益)	11	142
売上債権の増減額(△は増加)	△140,319	△19,121
たな卸資産の増減額(△は増加)	△178,829	17,160
仕入債務の増減額(△は減少)	56,522	18,889
その他	20,120	△40,449
小計	△327,877	△224,743
利息及び配当金の受取額	550	509
利息の支払額	△4,418	△3,999
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,350	△2,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	△333,095	△230,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	—	△688
関係会社株式の取得による支出	—	△25,000
敷金の差入による支出	△1,206	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,793	△25,688
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	130,000
長期借入金の返済による支出	△170,040	△118,580
その他	△472	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,512	11,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	△887	855
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△455,702	△244,393
現金及び現金同等物の期首残高	1,121,614	743,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	665,912	498,837

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日)
当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年11月30日)
当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。